

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年11月7日

事業所名:

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	一度に利用定員上限人数が入ることはなく、運動や学習、面談等に応じて必要なスペースを確保している。	はい90%、どちらともいえない7%、いいえ3%
	2 職員の適切な配置	利用される人数に応じて基準を満たす人員配置を行っている	はい100%
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真や絵を用いて視覚支援を実施している	はい93%、どちらともいえない3%、わからない3%
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日活動後に、掃除・清掃を実施し不快感を与えないようにしている	はい97%、わからない3% 清潔ではあるがいつまで消毒とマスクをさせ続ける必要があるのなか疑問
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善への意見は随時取り入れ、また全職員が積極的に参加できるよう職員の良好な関係性作りに努めている。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による評価は実施しておりませんが、学校・保育園関係者や相談支援員には適宜見学にお越しいただいております。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	随時ミーティングは行っており、外部研修には各職員にて参加をおこなってもらっています	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様にアセスメントシートを作成していただき、それも基づいて相談内容を聴き取り、それを担当者会議で分析・アセスメントし、個別支援計画を作成している	はい97%、わからない3% 本人の課題点だけでなく強みや得意を活かして活動に参加できるよう配慮いただけてありがたいです。課題や運動などの活動を通して学びが多い時間となっていると思います。 個別支援内容は定期見直しされるが通所中にそれに見合った支援がされているのか微妙。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	各曜日ごとにプログラムを設定しており、一人一人に応じた個別の課題を実施している	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援者会議を行い、職員間で共有しながら支援内容を設定している	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	連絡ファイルやミーティング等で職員間で支援内容や目標の共有を図っている	はい97%、わからない3%
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員同士で意見交換したり、ミーティングでイベント・プログラム等の意見を出し合っている	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	要望に応じてプリント学習課題を用意したり、子どもへの関わり方の資料などを提供している。	はい93%、どちらともいえない3%、わからない3% 毎回同じような活動に感じる。自由時間とプログラム活動時間の配分が不明。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	随時子どもの評価に応じて活動内容をかえている。ときには子どもたちにやりたい内容を意見を出し合っていて決めている	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の活動の主導権をもつ人、補助にまわる人など、毎日職員間で話し合い動いている	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日終了後に、職員間でその日の対応方法等について確認・話し合いの時間を設けている	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用のたびに子どもの行動やその対応方法等を記録し、職員間で共有しモニタリングへといかず	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に相談支援員と支援内容の確認をし、保護者さんと面談し、担当者会議によって支援を見直しを行っている		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所の担当者会議には出席できていません。個々にモニタリングを行っているほか、書面にて状況をお伝えしています	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在医療的ケアが必要なお子様や、重症心身障害のあるお子様のご利用はありません	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	見学等にお越しいただき、情報共有を試みています。が、定期的・継続的な情報共有ができる段階には至っていません	我が子の場合には特に必要性を感じておりません。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	これまでに対象となるケースはなかった	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	会社全体としての研修は現在おこなうことができていません	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他の事業所や地域住民の方との交流する機会はなかった	はい24%、どちらともいえない7%、いいえ41%、わからない27%
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援方針や利用者負担等については契約時にご説明させていただいている	はい93%、どちらともいえない3% わからない3%
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者様にお時間をとっていただき、書面・口頭で定期的にご説明させていただいている	はい97%、わからない3%
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在具体的にプログラムを組んでのペアレントトレーニングは実施していません	はい45%、どちらともいえない17%、 いいえ20%、わからない17% ペアレントトレーニングを実施しているのかはわかりませんが必要に応じて保護者の支援をしてくださっています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に窓口にて保護者様とお話したり、連絡帳を用いて連絡をとり、適宜面談の機会を設けている	はい97%、どちらともいえない3% 連絡帳のみ有り。その外のやりとりはほとんどない。プロからの気づきをまめに教えてほしい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	「頻繁」には面談できる機会はつくれていません。指導後に保護者様と様々なお話をさせていただいている	はい90%、どちらともいえない10% 半年に一度程度はある。任意で良いのでできれば3ヶ月に一度は場を設けてくれると助かる。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会等の開催は現在おこなっておりません	はい10%、どちらともいえない7% いいえ58%、わからない24%
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口を設置し職員間で共有して迅速に対応できるように努めています。また日ごろから指導後に様々なご意見を頂戴しております	はい62%、どちらともいえない3%、 わからない34% 苦情をお伝えするような状況になったことがないので分かりません。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用時には連絡帳にて活動時に様子を記載し、送迎時にお伝えさせていただいております	はい93%、わからない7%
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月ごとに活動概要を記したおたよりを玄関に提示しております	はい40%、どちらともいえない14% いいえ24%、わからない24% 毎回各個人のノートに詳細を書きつけています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報を持ち帰らないように徹底し、名前等が記載された書類は必ずシュレーダーを通すなどの対応をとっております	はい86%、わからない14%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルは作成しているが、保護者様への周知がまだ徹底できていない	はい34%、どちらともいえない24% いいえ6%、わからない34% マニュアルがあるかどうかわかりません。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害時の避難訓練等は定期的に行っているが、職員間のみでの共有にとどまっている	はい21%、どちらともいえない24%、 いいえ13%、わからない48%
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員間で研修をおこなってはいるが、現在は外部研修にまで参加できていない	
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束についての規定は欠かさず記載しているが現在のところ実例はない	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	初回利用時に聞き取りをおこない、おやつ時には確認している。飲み物については持参してもらっているが、購入が必要な際は、お電話にて随時確認をとっている。	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	現在ヒヤリハット事例集を作成できておらず、随時職員間で口頭での注意喚起にとどまっている	

## (別添様式2)

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
現在の所、改装工事をする予定はなく、限られたスペースでの運動に工夫を行っていきます。
今後も基準を遵守します。 スタッフの資格に関しては、ホームページや玄関入り口にスタッフ紹介として貼っております。
2階までが階段という課題を残している
面接室には季節に応じて冷暖房器具をとりいれる定期的にクリーニング業者に依頼している。 利用者がいないときの掃除を徹底。
PDCAの流れを確立し、職員全体が「改善」に意識をもって取り組めるよう努めていきます
今後、外部から評価によってよりサービスの質を上げていく
今後テーマにそった職員研修を確立していく
どのようなご家庭の相談にもこたえられるようにより質の高い担当者会議を努めていく
個別も集団も子どもの発達には必要なものと捉え、今後も計画の作成をおこなう
相談支援員や保護者様から聞き取りし、具体的な支援内容を設定していく

保護者の評価を踏まえた改善目標・内容

今後も全職員で支援の内容を把握、共有する

日々職員間でコミュニケーションを取り合い、  
意見を出し合える雰囲気作りに努める

今後、季節イベント等も含めた活動内容を  
考えていきたい

個々の子どもに応じた活動内容をおこなっていく

今後も職員間で話し合い、共有することで、  
支援方法のズレの防止、よりよい改善に  
努める

今後も継続しながらより職員間で情報の共有を  
図っていく

今後も正確な記録をしつつ、それぞれの着眼点  
の違いの共有等が課題です

今後もモニタリング、計画の見直し、作成を  
実施していく

保護者の評価を踏まえた改善目標・内容

今後は障害児支援事業所との関係を深めさらに情報共有を行えるように努める

今後、医療的ケアが必要なお子様や、重症心身障害をおもちの方がご利用される場合は関係機関と連携し適切な支援が行えるように配慮する

各関係機関との連携を築き、情報共有を行えるように努める

今後の進路支援を考慮し他の障害福祉サービス事業所とも連携がとれるようにつとめる

サービス向上のため、全職員が研修に参加できるように配慮したい

個人情報の保護にも注意しつつ、地域に開かれた事業運営を努めたい



保護者の評価を踏まえた改善目標・内容

今後も契約時の説明のほか、適宜支援内容を丁寧にご説明させていただく

今後も、よりご家庭の相談にそって丁寧にご説明させていただく

今後は、ペアレントトレーニングのプログラム作り、随時ご提示させていただきます

今後も保護者様と信頼関係を築き、よりフットワークよく面談できる機会を設けたい

今後も保護者様と信頼関係を築き、よりフットワークよく面談できる機会を設けたい

保護者会やその他保護者の皆さまに向けた会等のご要望があれば機会を作りたい

今後も苦情がないように徹底してまいります。

連絡帳等ではお伝えきれない事項については面談の機会を設けたい

今後はホームページ上でも情報を発信していきます

今後も個人情報が外部にもれないよう最大限配慮するとともに、現在行っている対策を徹底して実行してまいります

保護者の評価を踏まえた改善目標・内容

作成しているマニュアル等を保護者様用に作り直し、配布・説明を行う

職員の役割を確認し、災害体制を確立するとともに保護者様に周知徹底していく

職員が外部の研修にも参加できる機会をつくっていく

自傷・他傷行為のある子どもへの支援の仕方や関わり方についての知識をふかめる

子ども同士の食べ物のやりとりがおこらないように職員が随時注意して観察している

早い段階でヒヤリハット事例集を作成する。完成次第研修を行い職員間で情報を共有する